

プレスリリース



2016年 3月 31日

国立研究開発法人海洋研究開発機構

海底広域研究船「かいめい」の引渡しについて

国立研究開発法人海洋研究開発機構（理事長 平 朝彦、以下「JAMSTEC」という）が発注し、三菱重工業(株)が建造していた海底広域研究船「かいめい」（以下「かいめい」）は、平成28年3月30日に三菱重工業(株)下関造船所においてJAMSTECに引渡されました。

「かいめい」は、3次元地震探査システムによる海底下地殻構造探査、海底設置型掘削装置等による海底サンプリング調査、自律型無人探査機（AUV）の複数機運用や音響機器による海底の精密調査により、我が国周辺海域に存在する海洋資源の科学調査など、海洋の広域科学調査を加速させることが期待される研究船です。

引渡しを受けた「かいめい」は、平成28年度中に調査観測機器の試験や訓練を実施し、平成29年度からの調査研究航海に備える予定です。



海底広域研究船「かいめい」（海上試験時）

主要目等

全長	100.50メートル
幅	20.50メートル
総トン数	5,747トン
航海速度	12.0ノット
航続距離	約9,000海里
最大搭載人員	65名（船員27名／研究者等38名）

国立研究開発法人海洋研究開発機構

（本内容について）

海洋工学センター 海洋研究船建造室長 網谷 泰孝

（報道担当）

広報部 報道課 課長 松井 宏泰